

「ほけんしつりようカード」

養護教諭 山岸 和子

授業中にけがをしたり、具合が悪くなったりしたときには、先生から「ほけんしつりようカード」をもらい、このカードを持って保健室に行きます。

適切な手当や処置を受けるためには、きちんと自分の体の状況を伝えることが大切です。病院を受診する大人の患者さんでも、症状などを説明できない人が多いという医師の話聞いたことがあります。

ふさわしい言葉を選び、わかりやすく話す力を身に付けることは、どんな場面でも役立ちます。

このカードを活用することで、子供たちの自分の体の様子を説明する力を高めていきたいと思えます。



命を守る学習

避難訓練担当 小林 未来

毎月の避難訓練で、子供たちに繰り返し伝えている言葉があります。それは、「避難訓練は『命を守る学習』である」ということです。火事の時、地震の時、不審者が現れた時、どうやって自分の身を守ればよいのか。訓練は、様々な場面を想定して行っています。

1学期は、火事・地震の訓練の他に、台風が通過した際の集団下校の訓練も実施しました。子供たちは、「お・か・し・も」(おさない・かけない・しゃべらない・もどらない)の合言葉のもと、真剣に取り組みました。

災害は決して自分の身から遠くにあるものではありません。日頃からの備えが、いざというとき、自分の命を守ります。ぜひご家庭でも折に触れて、お子さんと一緒に防災について考えてみてほしいと思います。学校と家庭、地域が協力して、子供たちの防災に対する意識を高めていきましょう。

夏季水泳について

夏季水泳担当 八代 系史

プール開きは終わりましたが、今年は天候に恵まれず、なかなかプールに入れなくて、子供たちも残念そうです。

さて、夏季水泳は、日頃の運動習慣を身に付けるだけでなく、友達との仲を深めることもできる絶好のチャンスです。運動の好きな子も、そうでない子も、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わうことは、とても貴重な経験です。できるだけ多くの日程に参加し、友達と水泳を楽しんでほしいと思います。「運動が好き」というだけでなく、「友達と一緒に体を動かすことが楽しい」と感じる事ができたら、とてもよいです。また、水泳が苦手なお子さんにとっては、継続して練習できる良い機会です。

事前にお知らせした日程、時間帯、持ち物をよく確認した上で、夏季水泳へ参加させてください。一つでも忘れ物をしてしまうと、安全管理上プールへ入ることができません。登校する前に必ず確認をお願いします。

夏季補習について

教務主任 鈴木 明美

夏休みに夏季補習を予定しています。前期は、7月21日(木)～26日(火)の4日間、後期は、8月26日(金)～30日(火)の3日間です。

国語や算数を中心として、1学期に習った基礎基本の内容の習熟できていないところを担当の先生と一緒に復習します。

また、夏休みの宿題のドリルや学校で準備した練習プリントを使い、各個人の課題に応じて学習します。その他、3学期にある漢字検定に向けての練習問題に挑戦したり、読書感想文を書いたりすることもよいことです。

補習の時間は、夏季水泳の前か後、場所は、自分の教室で行います。事前に申し込みのプリントを配布いたしますので、担任へ7月11日(月)までに提出してください。なお連絡がなく欠席している児童には、学校から連絡しますので、参加できる日程をよく確認の上、お申し込みいただき、その日に欠席される場合は、必ず学校へご連絡ください。